

平成 30 年度

全国学力・学習状況調査の  
結果について



平成 30 年 12 月  
海老名市立杉本小学校

## 目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「理科に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 4
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 5
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 6



## 資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。  
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

### 【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

### 【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

### 【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

### 【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

### 【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の方は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

### 【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

### 【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

# 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました

## ◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## ◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
  - ・ 中学校第3学年

## ◆ 調査内容

### (1) 教科に関する調査

#### 【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

#### 【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

### (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

### (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

## ◆ 調査実施日

平成30年4月17日(火)



## 国語に関する調査結果

### 国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 国語 A 全体として、結果は良好です。
- 目的に応じて必要な情報を捉える問題ができています。
- 登場人物の心情について、情景描写を基に捉えることがよくできています。
- 漢字や慣用句等、言語についての知識は全体的に身につけています。

《努力を要する所》

- 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くことにやや課題があります。
- 「積極的」という漢字を書く問題の正答率がやや低いです。

### 国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 話合いの中で質問者の質問の意図を捉える課題がよくできています。
- 計画的に話し合うために、司会の役割について捉えることが比較的できています。
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことが比較的できています。

《努力を要する所》

- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることに課題があります。
- 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くことに課題があります。

### これまでの取組から

- 授業において自分の考えを述べるときは、できるだけ理由や根拠をもとに述べるように指導しています。
- 校内研究で総合的な学習の時間に取り組み、国語科の学習と関連づけながら、話すこと・聞くこと、読むこと、書くこと等に関わる学習を行っています。

### 今後の具体的な取組について

- すべての学習の基礎となる「話す・聞く・読む・書く」については繰り返し指導することで定着を図ります。
- 授業の中での友だちの発言に自分の考えをつなげて考えたり発言したりすることを大切にしながら、主体的で対話的な学びになるよう取り組みます。



# 算数に関する調査結果

## 算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

【数量や図形についての技能】

- 1に当たる大きさを求める問題で、数量の関係を数直線上に表したり、除法を使って答えを適切に求めたりすることがよくできています。
- 示された表現方法を基に、空間の中にあるものの位置を表現することがよくできています。

【数量や図形についての知識理解】

- 除法で表すことができる二つの数量の関係をよく理解しています。
- 十進位取り記数法で表された数の大小についてよく理解しています。

《努力を要する所》

- 小数の除法の意味について、理解に課題があります。
- 百分率を求めたり、折れ線グラフから変化の特徴をつかんだりするなど、「数量関係」の理解に課題があります。

## 算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

【数学的な考え方】

- 折り紙の輪の色の規則性を解釈し、それを基に、条件に合う色を選ぶことが適切にできています。
- 示された情報を解釈し、ほかの数値の場合を表に整理し、条件に合う量(時間)を判断することが、比較的できています。
- 記述式の問題において、無解答率が昨年度より、低くなっています。

《努力を要する所》

- 合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見出す問題に戸惑う傾向が見られました。
- 棒グラフで表された量と、グラフで表された割合を結び付けて、正しく情報を読み取る(判断する)力に課題があります。

## これまでの取組から

- 校内研究でめざしてきた「お互いに伝え合い、考えを高め合う子の育成」の成果を生かし、児童が相互に学び合う姿勢を大切に取り組んでいます。

## 今後の具体的な取組について

- 数量関係の理解については、児童が「お互いの考えを数値を根拠として説明し合う」場面を増やすことによって、理解の深まりをめざします。
- 「基本的な数量や図形についての知識・技能」は、ドリル学習等を活用し、今後も繰り返すことにより、定着を図ります。



## 理科に関する調査結果

### 《優れている所》

- 観察、実験の器具について、ろ過の適切な操作技能の定着が見られます。
- 観察、実験の結果から得られたデータと現象を関係付けて考察することができています。
- 安全に留意し、生物を愛護する態度をもった解決方法を構想することができています。
- 学んだことを自然の事物・現象に適用することが比較的できています。

### 《努力を要する所》

- 選択式の問題はできますが、記述式の問題は努力を要します。
- 観察、実験の結果を整理し分析して、考察した内容を記述することに課題があります。
- 予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、実験を構想したり、結果を基に自分の考えを改善したりすることに課題があります。
- 既習の内容や生活経験をもものづくりに適用することに課題があります。

### これまでの取組から

- 問題解決の様々な場面で自分の考えを表現したり、他者の考えを聞き、それを基に自分の考えを振り返ったり、見直したりするなどの話し合いを重視した学習活動を継続して行っています。

### 今後の具体的な取組について

- 実験を構想する際には、どのような予想を確かめたい実験なのかを明確にし、実験方法の妥当性や得られる結果の見通しなどを検討する場面を設定するなどの工夫をします。
- ものづくりの目的や獲得した知識をもものづくりにどのように活用するのかを明らかにし、設定した目的に対して、実際につくって繰り返し試しながら、できたものが目的に合ったものになっているかを振り返ったり、確かめたりする学習活動を確保します。



# 児童質問紙の結果より

## 学習について

### 《よかった所》

- 「家で学校の宿題をしていますか」の質問に、すべての児童が「している・どちらかといえばしている」と答えています。
- 算数の授業内容が分かると答えている児童が90%近くいます。また、「算数の勉強は大切だ」「社会に出て役に立つ」と考えている児童も、90%以上います。

### 《課題と思われる所》

- 算数の学習が好きではない児童が40%以上おり、普段の生活の中で算数を活用しようと考えている児童が比較的少ないです。
- 発表する際に、自分の考えがうまく伝わるように表現を工夫することが苦手な児童が半数近くいます。

## 生活について

### 《よかった所》

- ほぼ全員の児童が毎日朝食を食べています。また、毎日決まった時刻に起床・就寝している児童が多く、基本的な生活習慣がしっかりと身につけています。
- 「家の人と学校の出来事について話をしていますか」の質問に80%以上の児童が「している」と答えています。

### 《課題と思われる所》

- 地域や社会の出来事に関する関心が比較的低い児童が多いです。また、社会や自然のことがらに疑問を持ったり、発見をしたりする児童も多くはありません。
- ほぼ全員の児童がいじめは絶対にいけないと考えてますが、学校の決まりを守ろうという意識はあまり高くはありません。

## これまでの取組から

- 低学年のうちから、学年に応じた宿題などにより家庭学習の定着を図っています。また、「かかわり合いながら主体的に学ぶ児童の育成」をテーマに校内研究を行っています。
- 学校生活アンケートを実施し、児童が楽しく学校生活を送ることができるように指導しています。

## 今後の具体的な取組について

- 「生活科・総合的な学習の時間」の校内研究を中心に、各学年指導計画を作成し、「問題を発見・追及する力」「自分の考えを伝える力」等の育成に努めていきます。
- タブレット端末やICT機器の活用等、児童が意欲的に学習に取り組むことができるように授業を工夫していきます。



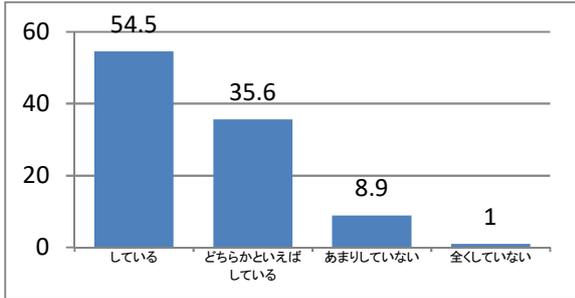
# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい3つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

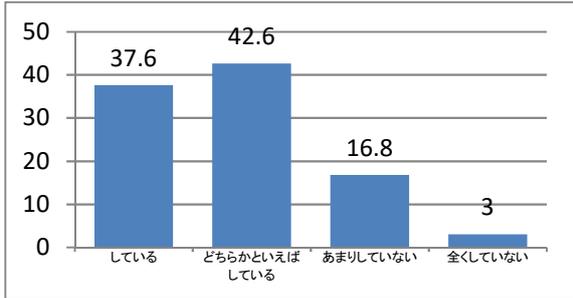
## 1 規則正しい生活を送りましょう。

起床時刻に比べて、就寝時刻にばらつきがあるようです。夜更かしをしたり、テレビやゲームの画面などから強い刺激を受けたりすると、睡眠の質が低下すると言われています。就寝前の過ごし方の見直しなど、規則正しい生活を送るための環境づくりに取り組みましょう。

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。



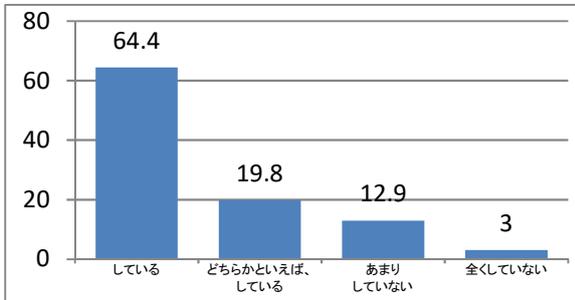
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



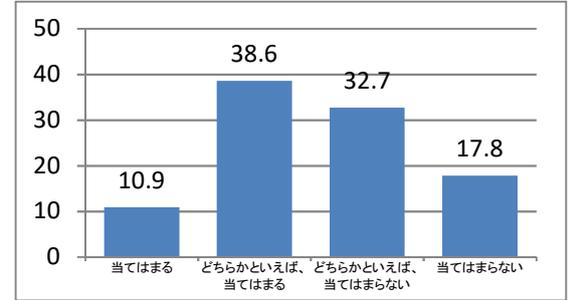
## 2 家族や地域とのかかわりを大切にしましょう。

家の人と学校での出来事について話をする割合が高いですが、地域や社会について考えることが少ないようです。家の人の支えとともに、地域や社会との結びつきが生活を支えています。地域のよさを発見するなど家族で地域とのかかわりについて話す機会を作りましょう。

家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか。



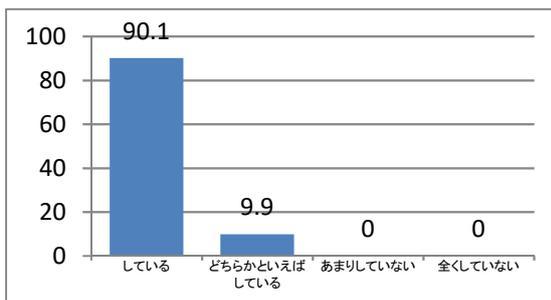
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。



## 3 計画的に家庭学習に取り組みましょう。

家庭学習に関しては、ほとんどの児童が宿題に取り組んでいます。計画を立てて学習に取り組んでいる割合はやや低いですが、昨年度より高くなってきています。今後も自学自習の習慣を身につけるために、児童自らが計画を立てて学習に取り組めるような支援を図りましょう。

家で、学校の宿題をしていますか。



家で、計画を立てて勉強をしていますか。

